

フロンティアスクール中間報告書

都道府県名	新潟県
-------	-----

学校の概要（平成15年4月現在）

学校名	長岡市立阪之上小学校								
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	2	2	2	2	2	2	0	12	17
児童数	55	48	50	43	43	44	0	283	

研究の概要

1. 研究主題

一人一人の学力を確かに向上させる指導のあり方 ～少人数指導の工夫～

2. 研究内容与方法

(1) 実施学年・教科

第1～6学年 国語、算数を中心に
基礎・基本の定着に差が生じやすい教科について、一人一人に応じたきめ細かな指導がより必要である。

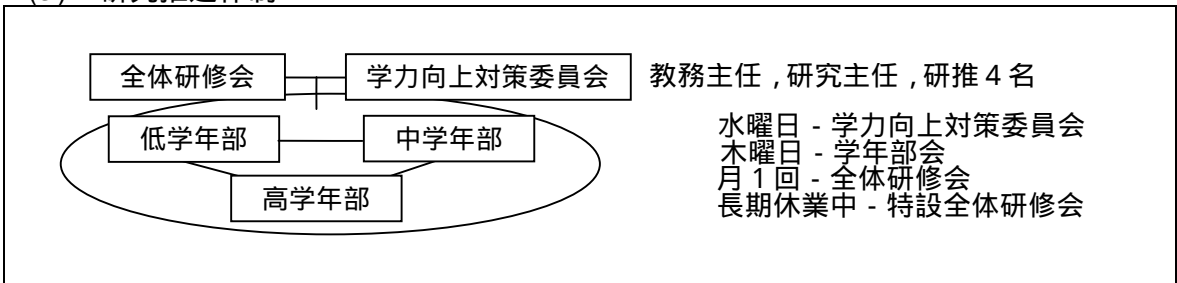
(2) 年次ごとの計画

平成14年度	<p>テーマ 一人一人の学力を確かに向上させる指導のあり方 ～算数科における少人数指導の工夫～</p> <p>仮説 児童の自己評価や少人数指導の特性を生かしたりして個に応じた指導を改善していけば、学習意欲の高まりを促し、学力を向上させることができる。</p> <p>研究内容・方法 【内容】 (1) 単元における少人数指導の適切な位置付けを探る。 (2) 少人数指導のコース設定と個に応じた教材を開発する。 (3) 自己評価力を高め、指導と評価の一体化を図る。 【方法】 (1) 児童の実態把握（学力分析、意識調査） (2) ねらいを明確にしたコース設定 (3) 補充・発展教材の開発 (4) 「ふりかえりカード」の活用例の開発</p>
--------	--

平成15年度	<p>* 年度当初、学校評価およびNRT学力テスト等の分析により、年次計画の見直しを図った。</p> <p>テーマ 一人一人の学力を確かに向上させる指導 ～国語科・算数科における少人数指導の工夫～</p> <p>仮説 児童の自己評価や少人数指導の特性を生かしたり、学びを支える環境を整備したりして、一人一人に応じた指導の質的改善を図っていけば、学習意欲の高まりを促し、学力を確かに向上させることができる。</p> <p>研究内容・方法 【内容】 (1) 少人数指導の適切な位置付けを図った指導計画を作成する。 (2) 少人数指導のコース設定と個に応じた教材の開発を充実する。 (3) 自己評価の場を充実させ、指導と評価の一体化を図る。 (4) 保護者・地域・中学校との連携を密にする。 【方法】 (1) 14年度学力テスト結果との比較から児童の学力実態把握と少人数指導のあり方の有効性を検証 (2) 児童の意識調査結果及び学力テスト結果から学力向上と学習意欲の高まりの相乗効果を把握 (3) ねらいを明確にしたコースの設定 (4) 補充・発展教材のさらなる開発 (5) 学力データと指導の手だて、取組について他校と情報交流</p>
--------	---

平成16年度	<p>テーマ 一人一人の学力を確かに向上させる指導 ～各教科における少人数指導の工夫～</p> <p>仮説 児童の自己評価や少人数指導の特性を生かしたり、保護者や地域、中学校との連携を密にしたりして、一人一人に応じた指導を改善していけば、学習意欲の高まりを促し、学力を確かに向上させることができる。</p> <p>研究内容・方法 【内容】 (1)各教科における習熟度別少人数指導の適切な位置付けを図った指導計画を作成する。 (2)少人数指導のコース設定と個に応じた教材をさらに開発する。 (3)児童の自己評価力を高め、それを生かした指導と評価の一体化を図る。 (4)計画的に、保護者・地域、及び中学校との連携を図る。 【方法】 (1)14年度、15年度との学力との比較検討から児童の学力実態把握と少人数指導の有効性の検証 (2)指導計画・教材事例集の作成(14,15,16年度の事例をまとめる) (3)小中連携授業、保護者ボランティア等による授業参画等、連携の強化</p>
--------	--

(3) 研究推進体制



平成15年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究成果

- ・一斉指導と少人数指導を単元の指導計画の中で適切に位置付け、適切なコース設定をすることによって、少人数指導の効果を高めることができる。
- ・各コースでの教材、かかわりの姿を明らかにしたり、児童の自己評価の場を充実したりすることによって、学習意欲をより高めることができる。
- ・「学び方の基本」を徹底させ、学びを支える環境などを充実することで、子どもの学びを確かにし、深めることができる。
- ・4月実施のNRT学力テストでは、全校の学力偏差値平均は国語・算数とも全国平均を5ポイント以上も上回った。教科別では国語で3.6ポイント、算数で3.2ポイント上昇した。
- ・児童の意識調査結果から、学習意欲は顕著な高まりが見られた。

2. 今後の課題

- ・教科、単元、学年に応じて、どのような少人数指導が有効かをさらに探る。
- ・各コースにおいて個に応じた教材をさらに開発し、子ども相互のかかわりを生むための手立てを工夫する。
- ・評価規準を明確にした指導計画の作成に努める。

学力等把握のための学校としての取組

- ・県小教研学力テスト、NRT学力テストに基づく学力分析と実態把握(4月)
- ・CRT学力テストによる学力分析と実態把握(2月)
- ・学力テスト結果の蓄積から個の学力偏差値の変容について研修(8月)を行った。さらにその成果を生かし、一人一人に応じた指導の方策を具体化した。

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

- ・ 第1年次中間発表会 日時：平成15年2月5日（水）
- ・ 第2年次中間発表会 日時：平成16年2月4日（水）
- 場所：阪之上小学校
- 対象：長岡市・栃尾市・古志郡地域全小中学校 教育委員会 県内F S校
- ・ 研究成果をまとめたパンフレットを作成
- ・ 学校ホームページ上で紹介（<http://www.kome100.ne.jp/sakanoue-es/>）
- ・ 学校便り・学年便りで紹介
- ・ 長岡地域フロンティアティーチャーター協議会で提案発表（平成15年8月19日）



次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。（複数チェック可）

【新規校・継続校】	<input type="checkbox"/> 15年度からの新規校	<input checked="" type="checkbox"/> 14年度からの継続校
【学校規模】	<input type="checkbox"/> 6学級以下	<input checked="" type="checkbox"/> 7～12学級
	<input type="checkbox"/> 13～18学級	<input type="checkbox"/> 19～24学級
	<input type="checkbox"/> 25学級以上	
【指導体制】	<input checked="" type="checkbox"/> 少人数指導	<input checked="" type="checkbox"/> T・Tによる指導
	<input type="checkbox"/> 一部教科担任制	<input type="checkbox"/> その他
【研究教科】	<input checked="" type="checkbox"/> 国語	<input type="checkbox"/> 社会
	<input type="checkbox"/> 生活	<input checked="" type="checkbox"/> 算数
	<input type="checkbox"/> 体育	<input type="checkbox"/> 理科
		<input type="checkbox"/> 図画工作
		<input type="checkbox"/> 家庭
【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】		<input checked="" type="checkbox"/> 有
		<input type="checkbox"/> 無